

2023年早春 第167号

多摩市議会議員 政党や特定団体の支援は一切受けず完全無所属で活動中

岩永ひさかReport

<http://www.iwanaga-hisaka.net/>

発行/岩永ひさかと夢・まち会議 Phone (留守番電話専用) / 042-371-0763



して活動している方にお話を伺うと、志、意識も高く、地域の中で奮闘されていることがわかります。また、**高齢層の高齢者の増加に伴い、身近な場での参加希望が増えている**とも伺っています。これからのことを考えると、ますます需要が高まるようにも思いますし、今のような手法で、「介護予防リーダー」の育成を

進めていても、追いつかない可能性が大きいのではないのでしょうか。

改めて、「介護予防リーダー」の育成やその在り方を再考し、ボランティアで気軽に関われるような手法の工夫、支援策等、問題提起していきたいと思ひます。

ご意見やご感想など、お待ちしております。

私のつづき...

●多摩市議会には26人の議員がいるので一方的に自分の主張するだけでなく、よりよく議論し、政策の対案を議会として打ち出していくことが、期待されている議会の姿ではないか考えてきました。そして、何よりも「風通しのいい環境」...そのための対話、**コミュニケーションカ**こそが大事なと痛感しています。

●私は「未来を担う子ども優先」を掲げながら、政策づくりに取り組んできました。そして、地球温暖化対策をはじめ、そもそも私たちの生きる基盤である地球環境を守ることも優先的に取り組むべき事項だと考えています。

最近「健幸都市の実現」のためには「未病」の視点を取り入れるべきではないかと思ひ、勉強中です。

新型コロナ禍で迎える3度目の新年でしたね。私たちの生きていく社会と暮らしの行く末、これからどうなっていくのか、特に、私は「子どもの育ち」とマスクの心身への影響を気にしています。

市議会でも感染症対策が続き、未だに傍聴席がオープンにはできず、市民の方より、疑問の声も上がっています。他市ではすでに傍聴者を受け入れ、市民との意見交換会なども実施し、市議会活動を可視化するための取組みを再開しています。多摩市議会ではインターネットによる配信なども実施していますが、やはり、リアルに見聞きするのとは違うという声も聴いています。

オンライン会議など技術にも支えられ、新たな活動展開も可能だと思いますが、私はリアルに対面で意見交換してこそ、深まることもあるのではないかと考えます。議会が市民と対話する機会を取り戻していきたいものです。

いよいよ、4年間の任期最後の定例会を3月に迎えます。自分自身の活動の総括もしつつ、備えていこうと思ひます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2023年1月 岩永ひさか

Policy & Style

公平公正な姿勢!
市民全体に向けた活動を心がけ、個人後援会は作りません。

話し合いが大切!
意見の違いは粘り強く議論をつづけることで、「第3の道」を見つける努力をします。

政策づくりが議員の仕事!
議員としての専門性を磨き、市民の自治力の向上をバックアップします。

PROFILE

1977年 兵庫県神戸市生まれ 1989年 北諏訪小学校卒
1992年 桐朋女子中学校卒
1995年 桐朋女子高等学校(普通科)卒
1999年 中央大学法学部政治学科卒
1999年~2002年 中小企業金融公庫(今の日本政策金融公庫)勤務
2006年 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了(公共政策学修士)
2002年4月 多摩市議会議員補欠選挙初当選
現在6期21年目 諏訪2丁目在住 家族/娘18歳

2002年~2007年 多摩生活者ネットワーク所属
2007年~ 民主党→民進党に所属
2017年12月に離党して以来、政党には所属していません。
「諦めなければ大丈夫!」をモットーに活動しています!

Phone & Fax

☎: 042-371-0763
いたずら、迷惑電話が多く、留守番電話専用になっています。
お名前、ご用件と希望する連絡先等をお願いいたします。
mail: hisaka_box@yahoo.co.jp

Pickup!

多摩センターの品格を守ってくれていた京王プラザホテル多摩。

撤退は本当に残念で痛手です。ホテルのロビーにて、感謝の気持ちで写真撮影してみました。



📌今月のテーマ
一人ひとりのより良い「介護予防」を広げていきたい。



一人ひとりのより良い「介護予防」を広げていきたい。

多摩市の高齢化のスピードは日本一、つまり、世界最速とも言われています。今後、団塊の世代が後期高齢者へ。「介護予防」をますます重視したまちづくりが求められます。

これからも「健康寿命」を守ることでできるまちづくりのために、条件を整え、後押しをしていく。

人口減少、そして超高齢社会は多摩市のみならず、国全体の課題とも言えますが、やはり、地域ごとに住民の状況を捉え、対応していくことが何より求められると言えます。

多摩市の高齢化率も毎年上昇しており、とうとう65歳以上老年人口は過去最高、**高齢化率も40%を超える地域もあり、30%に届くのも時間の問題**です。統計上では「65歳以上老年人口」高齢者ですが、多摩市の高齢者のみなさまはお達者な方が多く、健康寿命も都内ではトップクラス。

※健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のこと

このことは多摩市の高齢者の皆さんの健康に対する意識の高さを物語っていると思います。介護を必要とせず、自立した生活を送りたいと考え、日頃からご自身の健康づくりに取り組まれている方が多いと捉えています。

しかし、これから、多摩市でも75歳以上の人口が増えていく時代となり、従来の取組みを見つめ直し、工夫することが求められるように思っています。

「介護予防リーダー」の育成とその活用は進んでいるか。

なかでも、多摩市が取り組んできた「介護予防リーダーの育成」は、どこまで進んできたのでしょうか。

介護予防リーダーは、地域介護予防教室や自主グループ活動などを通じ、介護予防活動を主体的に行うボランティアとされています。2013年度から取組みが始まり、高齢支援課によれば現在までに合計172名の介護予防リーダーが誕生しています。ただ、介護予防リーダーとして活動するかどうかは、あくまでも個人の意思に委ねられているため、本来、期待されている活動が展開され、多摩市のめざす「住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくための高齢者に寄り添った取組み」が推進されているのか疑問が残ります。

「介護予防リーダー」の育成にかけた費用の話。

実際に、介護予防リーダーの育成には東京都健康長寿医療センターに委託し、毎年約500万円（2020年度実績ベース525万5928円）の費用を支出してきました。**10年間を考えると約6千万円にのぼり、そしてまた、介護予防リーダーを一人育成するためにも約30万円ほど**を投じている計算となります。

現在、市内の地域介護予防教室は17か所しかありません。もちろん、介護予防教室以外で健康づくりをされているかたも多くいらっしゃいます。とは言え、**介護予防教室の対象者を70歳以上の市民と考えても、その数は3万4987人（2022年12月現在）であり、圧倒的に不足しているような気がします。**地域介護予防教室では複数の介護予防リーダーの方が活躍していますし、「介護予防リーダー」の方はそれ以外の場でも活躍されていると伺っています。

しかし、「地域介護予防教室」として活動している方の実数は半分以下であり、こうした状況にあり、今後もこの形式で「介護予防リーダー」の育成を継続していくのかどうか、**増加する高齢者人口に見合う必要な介護リーダーの養成数、実質活動人数や質の向上**なども含めて、改めて検証が求められるように思います。

ボランティアにどこまで委ねていくか。「介護予防」をもっと、より良く広げるために。

さて、「介護予防リーダー」の育成は市が地域で普及を進めている「元気アップ体操」の講習も行われますが、座学が中心であり、実践につながる役立つ内容になっているのか検証も必要との声も聞こえてきます。高齢支援課では地域での活動をフォローしているとはいえ、もっと、

理学療法士、介護福祉士など**専門的見地から、介護予防に助言を受けることのできる体制充実も必要**との指摘もあります。これからは、「軽いうちに異常を見つけ、病気を予防する」という考え方に立った介護予防の質の向上をめざし、専門職がさらにバックアップする体制を整える視点が大事であり、そのことが、市民のためのより良い介護環境につながるのではないかと感じています。

地域にある大学との連携なども視野に入れることができないのか。

専門職が関わるとなると、どういう仕組みで実施していくかが課題になります。今でも忙しい地域包括支援センターとの連携強化もますます必要になるかもしれませんが、実際にどこまで担えるかなど、具体的な調整が求められると思います。また、「スポーツ・健康・医療」の関連学部がある国士舘大学や東京医療学院大学との連携を深めながら、取り組んでいくことも可能かもしれませんが、大学といかに連携できるのか、市の構想、企画力も問われます。

いずれにせよ、**今以上に、もっと市民のために有効な取り組みに進化させていくことが必要**です。

もっと気軽に地域に関わり、活動できるように「介護予防リーダー」の育成はできないのか。

実際に、「介護予防リーダー」と
(裏面に続く)

多摩市の人口状況
各年1月1日現在

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
総人口(人)	148,293	148,724	148,745	148,823	148,479	147,528
うち65歳以上(老年人口)	40,101	41,133	41,837	42,343	42,863	43,036
高齢化率(%)	27.04	27.66	28.13	28.45	28.87	29.17